

1. 件名：東京電力福島第一原子力発電所の事故分析に関する面談
2. 日時：令和元年10月18日（金） 13時30分～14時10分
3. 場所：原子力規制庁 18階 会議室
4. 出席者
原子力規制庁
原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室
岩永企画調査官、木原管理官補佐、星主任研究調査官、知見主任安全審査官
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー プロジェクト計画部 担当者 3名
5. 要旨
○東京電力ホールディングス株式会社（以下、「東電HD」という。）から資料に基づき、1号機原子炉格納容器近傍でのダスト濃度監視に係る作業の検討状況について、説明があった。

○原子力規制庁は、東京電力福島第一原子力発電所事故に係る継続的な調査・分析の観点から原子炉格納容器内部の有用な情報が得られることが期待されることから、引き続き進捗等について報告するようコメントした。
6. 資料
➤ 1号機PCV内部調査にかかるアクセスルート構築作業再開に向けた検討状況 [東電HD資料]